

講義名: 国際経済論 I <春> 曜日: 月4 担当教員名: モグベル ザファル	ナンバリングコード: ECON2650 曜日2:
研究室: 聖アンデレ館10階1030号室 オフィスアワー: 月曜日4限	メールアドレス: moghbel@andrew.ac.jp

授業形態  
『講義』

講義・演習概要  
現在は「グローバル化の時代」と言われていますが、グローバルな環境では「ヒト・モノ・カネ・技術・情報」が国境にほとんどさまたげられることなく双方向に移動しています。この講義では、グローバルな双方向の動きの中核をなす「モノの移動」(つまり、貿易)に焦点を置き、貿易の歴史、日本の貿易の現状分析、貿易実務、貿易理論の基礎などのテーマを扱います。

学習(到達)目標  
国際経済論・I では主に下記のテーマについて学び、理解することを目指します:  
(1)国際収支論、(2)日本の貿易構造の変遷、(3)経済グローバル化と世界経済の未来像  
受講生は国際収支論、国際収支統計の構成、近年の日本の国際収支の傾向、近年の日本の貿易構造について知ることができ、経済グローバル化と世界経済の未来像について自分の考えを述べるようになります。

講義・演習計画	
【第1回】 貿易の諸形態について	
【第2回】 日本の貿易構造:傾向と特徴	
【第3回】 国際収支の基礎知識	
【第4回】 日本の貿易収支:2010年までの期間	
【第5回】 日本の貿易収支:2011年以降の期間	
【第6回】 日本のサービス収支:輸送収支と旅行収支	
【第7回】 日本のサービス収支:知的財産権等使用料	
【第8回】 日本の第一次所得収支と第二次所得収支	
【第9回】 日本の経常収支	
【第10回】 日本の金融収支	
【第11回】 日本の外貨準備	
【第12回】 日本の対外純資産	
【第13回】 外国為替市場の基礎知識	
【第14回】 為替レートの決定	
【第15回】 円・ドル為替レートの戦後史	

成績評価の方法					
試験	0%	レポート	40%	その他	60%
コメント	レポート: 期末レポートを最終評価の40%とします。ただし、状況によっては期末レポートを期末試験に切り替えることがあります。 その他: 各授業に合わせて課題を出します。事前に指定する4回の課題を成績評価の対象としますので必ず提出してください。 成績評価対象課題は各15%、合計60%とします。				

テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	

参考文献  
日本貿易会著、「日本貿易の現状、2019」  
日本銀行国際局編、「国際収支統計の解説」  
毎回資料を配布するので、配布資料の責任ある管理を各人に期待する。

事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)  
ミクロ・マクロ経済学の基礎を学習しておくこと。配布資料を正しく管理すること(資料の再配布はしません)。授業中に配布する練習問題の事後学習が求められます。

その他備考(担当教員用)

キーワード

備考(管理者用)  
(旧:国際経済論)02~10E・CBCC生読替